

ae 横手市

# 社協だより

No. 23  
2012.1.1

みんながつくる みんなの福祉

横手市社会福祉協議会



## ようこそ後輩! 福祉で交流 共に学ぼう

増田高校の生徒が十文字中学校の生徒と福祉交流学习

あけましておめでとうございます

本年もよろしく願っています

◎理事・監事 (任期：H23.11.25～H25.11.24)

役職名	氏名	地区
会長	佐々木 義広	大雄
副会長	藤井 健太郎	横手
副会長	戸部 英二	平鹿
副会長	高橋 邦夫	十文字
理事	照井 優子	横手
理事	近江 千鶴子	横手
理事	石田 正	増田
理事	柴田 喜美男	平鹿
理事	佐々木 孝志	雄物川
理事	矢野 絹子	雄物川
理事	備前 雄一	大森
理事	稲葉 盛	大森
理事	吉田 吉男	十文字
理事	高橋 守	山内
理事	畠山 富雄	雄物川
監事	伊藤 堅治	横手
監事	柴田 幹夫	平鹿
監事	柴田 宏	十文字

# 震災を教訓に

横手市社会福祉協議会会長  
佐々木 義広



この度の役員改選により引き続き会長の職を務めることとなりました。微力ですが役員一体となって社会福祉の向上に努めてまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

三月十一日の大地震は巨大な被害をもたらしました。この事実は日本国民全体の日常生活、そして家族、地域社会、経済、政治等全てについて「これでいいのか」との大警鐘だったのではないのでしょうか。被災地、被災者の皆さんは、私どもには考えの及ばない苦難の

数々を乗り越えていかなければなりません。この負担を一人ひとりが背負っていく覚悟が今求められています。

大震災で最も注目されたのが「絆」でした。地域の「絆」、日本人の「絆」がどれほどのものだったのか問われた、試された機会ともなったと言えます。結果として被災時の冷静な対応、助け合い、支えあいの行動が内外の評価となり称えられております。これまでの地域社会の「絆づくり」の意識、活動がそれなりに育

まれ、温められてきたのではと解せると思います。社会福祉協議会は民間団体の一つですが、「地域福祉推進を目的とした団体」として法律に明確に定められており、住民の幸せづくり、絆づくりを目指す組織です。しかし、多くの皆さんには、

そのことが浸透してはいないのが実情です。「何をやっているのか」「たいしたことにはやっていないのでは」という声もあります。が、この震災を教訓として、これまでの活動の積み重ねを大切に市民の皆さん、それぞ

れの地域、諸団体と一層の連携を図りながら「支えあい、助け合い」の輪が更に広がる地域社会実現のため、その役割を果たしてまいりたいと思います。

幕末、明治期の日本を訪れた外国人たちはこそぞって、この東洋の一小国に安らぎや安全が満ち溢れており、庶民の間にも信頼関係のネットワークが張り巡らされていると感嘆されたといえらるつ。社会が蘇るようにと念じつ

## 横手市社協新体制

「みんながつくる みんなの福祉」を推進します

◎評議員 (任期：H23.9.1～H25.8.31)

役職名	氏名	地区
評議員	齊藤 純子	横手
評議員	前田 禮子	横手
評議員	鎌田 勲一	横手
評議員	松村 忠	横手
評議員	谷川 都子	横手
評議員	滝 順子	横手
評議員	天童 順子	増田
評議員	堀田 隆	増田
評議員	片倉 由美子	増田
評議員	佐藤 芳知	平鹿
評議員	大和谷 道子	平鹿
評議員	武藤 吉克	平鹿
評議員	田代 繁人	平鹿
評議員	川崎 眞一	雄物川
評議員	小西 茂	雄物川
評議員	東海林 隆介	雄物川
評議員	小笠原 眞理	雄物川
評議員	佐々木 隆雄	大森
評議員	大沼 ワカ子	大森
評議員	嵐田 良子	大森
評議員	田中 邦廣	十文字
評議員	斎藤 松四郎	十文字
評議員	近 成一	十文字
評議員	石垣 節子	十文字
評議員	石沢 達雄	山内
評議員	藤原 教一	山内
評議員	永瀬 吉一	大雄
評議員	戸田 和郎	大雄
評議員	金山 龍一	大雄

※現在評議員は2名欠員となっています。

# みんながつくる みんなの福祉を めざして

## 第7回横手市社会福祉大会



10月4日(火)、秋田ふるさと村ドーム劇場にて、市民や福祉関係者約500名の参加のもと、第7回目となる横手市社会福祉大会を開催いたしました。大会では、表彰等の式典や福祉標語の入選児童・生徒による発表、そして県生涯学習講師等として活躍されている澤井輝子さんをお迎えし、家族や地域の絆の大切さをテーマに「あなたが明日を拓く」と題した講演が行われました。

なお、今大会で表彰を受けられた皆様と、福祉標語で入選した児童・生徒と作品は次のとおりです。

### おめでとう！

#### ◎横手市社会福祉協議会会長表彰

山田三男(横手) 黒沢愛子(横手)  
鈴木京子(横手) 鈴木憲次郎(横手)  
高橋富雄(横手) 藤原ミヨ(横手)  
佐藤温子(雄物川) 佐藤喜太郎(雄物川)  
佐々木桂子(横手) 時野クニ子(横手)  
菅原ミネ(十文字)  
声の訪問ボランティア(横手)  
渡邊保子(平鹿) 山本善三郎(大雄)

#### ◎横手市社会福祉協議会会長感謝状

菅原康太(横手) 高橋邦生(山内)  
黒川小学校学校田育成会(横手)  
鈴木典男(大森)

#### ◎秋田県共同募金会会長表彰(伝達)

藤田齒科クリニック(横手)  
秋田県厚生農業協同組合連合会平鹿総合病院職員  
一同(横手)  
横手駅前温泉ゆうゆうプラザ(横手)  
横手市役所大森地域局(大森)  
秋田県南部老人福祉総合エリア(大森)  
秋田県立平成高等学校(平鹿)



「絆」の大切さを伝える  
講師の澤井輝子さん



地域でご活躍されている方々を表彰



標語が最優秀賞に選ばれた  
荒木春香さんの意見発表

#### ◎福祉の標語入選者・作品

##### 《中学生の部》

**最優秀賞** 荒木春香(平鹿中2年)  
「あなたから 届ける「想い」 つながる「心」」  
**優秀賞** 片倉滉司(増田中1年)  
「差し出す手 明るい日本の 道しるべ」  
**優秀賞** 高橋夢海(十文字中2年)  
「人と人 つなぐキズナは おもいやり」  
**優良賞** 佐藤匡成(平鹿中2年)  
「その思い 形にしよう 勇気を出して」  
**優良賞** 高橋留衣(横手南中1年)  
「ありがとう あなたがそばに いてくれる」  
**優良賞** 石橋恵吾(雄物川中2年)  
「差し出した 手からあふれる あなたの優しさ」

##### 《小学生の部》

**最優秀賞** 佐藤拓麻(吉田小6年)  
「思いやる みんなの心を 重ねよう」  
**優秀賞** 佐々木晴佳(浅舞小5年)  
「おもいやり 見えない大きな おくりもの」  
**優秀賞** 柿崎早香(浅舞小5年)  
「声をかけ 一人じゃないよ 一緒だよ」  
**優良賞** 出川奈々子(阿気小5年)  
「花よりも 花をさかせる 土になろう」  
**優良賞** 藤田理玖(山内小6年)  
「心と手 みんなでつなぐと 無限の力」  
**優良賞** 藤原優輝(十文字第二小6年)  
「つらい時 ぼくにも半分 分けてよね」

《順不同、敬称略》

## 秋の味覚でつながる輪 南形地域交流会(雄物川)

11月3日(木)、南形地域にて地元部落会が主体となって交流会が開催されました。交流会では、ユニカール・スマイルポーリング大会と、松茸ごはんと芋の子汁、焼き秋刀魚など豪華な料理が並べられた昼食会が行われ、住民およそ50名が参加し秋のスポーツと味覚を楽しみました。この催しは、地域の高齢化や一人暮らし世帯が増加する中で、地域の活性化などを目的に開催したもので、参加者からは「みんなで集まれる機会があってうれしい」という声が聞かれました。



旬の秋刀魚、大変おいしくいただきました

## 交流しながら防災意識を高める 下田部落交流の集い(大森)



消防署の指導により訓練にも熱が...

下田地区内の全戸に案内し、10月23日(日)「下田部落交流の集い」が開催されました。交流会では、参加者全員でのグラウンドゴルフ大会や緊急時の訓練として消火器・AED使用実技講習の他、懇親会が行われ、防災意識を高めながら地域での結びつきを強めた有意義な機会となりました。なお、この事業は大森福祉センター協力員会の「地域福祉活動応援事業」の助成金を活用しています。

## “孫”たちとの交流を楽しむ 各保育所・保育園でのふれあい交流会(平鹿)



笑顔と元気があふれる会場

平鹿福祉センター協力員会主催によるお一人暮らしの高齢者と地元園児との交流会が、各保育所・幼稚園で行われました。

参加した地域の高齢者からは「孫たちは遠くに住んでおり、普段子どもたちと接する機会がないためとても楽しかった」「元気な子どもたちからパワーをもらった」との声が聞かれ、楽しいひと時を過ごしていました。

※10月27日(木)吉田保育所、11月4日(金)下鍋倉保育所、

11月22日(火)醍醐保育園、12月15日(木)樽見内保育園で開催

(1月5日に浅舞感恩講保育園でも開催予定)

## ふれあいの園で“秋”を収穫 ふれあい農園収穫祭(十文字)

10月29日(土)、障がい児・者とボランティア、老人クラブ会員などが集い、十文字町健康福祉センター内にあるふれあい農園にてサツマイモの収穫が行われました。このサツマイモは春に花や他の野菜と一緒にみんなで苗植えをしたものです。今回は大きく育ったサツマイモが次々と掘り出され、子どもたちは宝探しのように、満面の笑顔で収穫の喜びを感じているようでした。お昼には収穫祭が行われ、農園で収穫したサツマイモによるさつま汁に舌鼓を打ちながら、参加者みんなで親睦を深めました。



収穫の喜びをみんなで

# 地域の話題★



## 疑似体験で理解を深めよう! 山内小学校疑似体験学習



どんな風に聞こえたのかな?

11月22日(火)、山内小学校で、聴覚障がい疑似体験学習が行われました。今回は、ヘッドホンをして日常生活等で「聞こえにくい」体験や、集音機を使っでの「音の聞こえ方」体験などを行いました。

クラスメイトには聴覚障がいのある児童もおり、外見からはわかりにくい障がいであるため、困っているのに気づかれないこともあります。また周囲が何に困っているのか理解しづらいこともあります。

この体験を通じて、笑顔で対応できる気持ちの余裕と、お互いの歩み寄りの大切さ、クラスメイトや障がいのある方々への「優しさ」が育まれたことと思います。



## 今、僕たちにできること 田根森小学校総合学習

田根森小学校4年生の総合学習で、『今、僕たちにできること』をテーマに、身近でできるeco活動として「節電・節水ポスター」「牛乳パックでecoハガキ」「ヘチマで緑のカーテン」の作成に取り組みました。

ポスターとカーテンは学校内に設置・掲示し、ecoハガキは、被災地に元気を届けようと絵や自分の近況、想いなどをつづって送りました。このハガキは岩手県大船渡市役所で掲示されるほか、順次、各被災地での掲示も検討されているとのこと。



僕らの想いを絵ハガキにのせて



## 自然な呼びかけで避難場所を知る 新町二区(幸町)町内会緊急避難プレート設置

10月、北地区管内の新町二区町内会において、町内3ヵ所のゴミ集積所へ「緊急避難場所プレート」が設置されました。このプレートは、昨年3月に「東日本大震災」が発生したことから、今後の万が一に備え、住民への自然な呼びかけを目的に町内会関係者が中心となって考案したものです。



みんなが避難場所をわかるように

町内会長の小田嶋さんは、「設置後、町内の皆さんより避難場所を知ることができて良かったと声を掛けられたが、家庭の状況によっては、その場所まで行く手段がないなどの新たな課題も寄せられた。今後は新たな課題に向けて町内会でできることに取り組んでいきたい」と、プレート設置への反響を受け、すでに今後の活動を視野に入れていました。

※緊急時避難プレートに関するお問い合わせは  
横手福祉センターまで。(電話 33-8668)

# 自分の家、自分の家族のように 接しています

## 横手市高齢者及び世代間交流施設「いきいき館」

「いきいき館」は、高齢者や地域の方が気軽に集い、入浴や休憩等の憩いの場としてご利用いただいています。

私たちは、市の委託事業として同館の管理や自立者支援通所事業（通称ミニデイサービス）の業務に従事しています。

当館をご利用していただく方には、「いつまでも元気に「いきいき」と暮らしていただきたい」、「自分の家、自分の家族のように感じていただきたい」と、いつも“笑顔とまごころ”で接することを心がけています。

ご利用される方は時には先生となり、私たちに暮らしの知恵や横手の歴史等を教えてください。そして、励ましてもらうことも。私たちの方が元気をもらっています。

「まだくるがらなあ」の言葉に感謝の毎日です。今後も、ご利用者や地域の皆さんに喜ばれる施設として、職員一同笑顔を忘れず頑張っ参りますのでよろしくお願ひいたします。



左：藤田一枝 中央：小野さおり 右：佐藤秀美

事業所名／いきいき館  
所在地／横手市南町12-15  
電話／36-6556（FAX兼）  
営業日／月～土曜日（祝祭日、年末年始を除く）  
営業時間／9：30～16：00



福祉を詠んで心豊かに

# ふくしり柳



横の手を

つないで下さ(づ)く

我が横手

「感謝」をテーマに、たくさんのご応募を頂きました。  
寄せられた作品の中から数点ご紹介させていただきます。（順不同）

一、ありがとう 互いに和む いい笑顔

佐藤静子さん（平鹿）

一、退職し 過ぎた時間に 今、感謝

近江一子さん（雄物川）

一、卒寿の母 お礼の涙に もらい泣き

先日、実家を訪ねたら胃ろうの母が  
ニコツと笑い涙を浮かべました。

R. Oさん  
寄せられたハガキより

〜ご応募を頂き、誠にありがとうございます〜

### ◎次号のテーマ「未来」

希望ある明るい「未来」をテーマに川柳を募集します。

### 募集要項

応募資格 市内在住の方ならどなたでも

応募方法

作品（お一人様二点まで）、氏名、連絡先（可能な範囲で）をご記入の上、ハガキやFAX、メールなどでご応募ください。（様式は問いません）。なお、応募作品は返却いたしませんので、ご了承ください。締切は一月三十一日（火）です。

応募先

横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課「ふくし柳係」  
〒013-0072 横手市卸町五一〇  
FAX：三六一五三八八

広報掲載

寄せられた作品の中から数点を選考させていただきます、作品、氏名等を掲載いたします。

その他

募集川柳は原則五・七・五音とします。ただし、多少の字余りや字足らずは構いません。

〜皆様からのご応募をお待ちしております〜

# お知らせ掲示板

## かいご教室のご案内

- ・1月17日(火) 会場：横手市 さかえ館  
介護食のつくり方  
(自宅で作れる介護食について学び、実際に調理します)
- ・2月21日(火) 会場：Y<sup>2</sup>ぷらざ  
介護保険や介護保険外の福祉サービスについて  
(要介護認定から介護保険サービスの利用について)
- ・3月13日(火) 会場：十字字ふれあい館  
「かいご」について語る  
(意見交換・交流会 認知症編)



※全回とも時間は13:30～15:30  
お申込・お問合せは最寄りの福祉センターへ

## 善意

ありがとうございました

(平成23年9月1日～11月30日受付分)

※広報発行回数の関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

※「善意」の受付は、お住まいの地域の横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

### 【横手福祉センター受付】

- 安藤 詔子様 (上真山)
- 演歌クラブ様
- 加藤 良子様 (下町)
- 金沢保育園様
- 金沢民謡様
- 黒崎 田 紀様 (碓)
- 齊藤 フミ様 (新町)
- 佐川舞踊交流一座様
- 佐々木寿一 大森女性コーラス様
- 佐々木 妙子様 (新栄町)
- 佐々木 有紀様 (末広町)
- 佐藤 良子様 (南町)
- 詩吟様
- 女声コーラス様
- 新日本舞踊扇佳流優仙会様
- 朝友会様
- ハーモニカ・黒沢 様
- ひばり歌謡会様
- 三門流かまくら舞踊会様
- 三ツ葉会様
- 村上 陸様 (末広町)
- 横手歌謡会様
- 横手市勤労者互助会女性部様
- 横手市連合婦人会様
- 佐々木 哲也様 (清水町)
- 黒澤 善一様 (三本柳)
- 横手南中学校様
- 秋田県クリーニング組合横手支部様

### 【平鹿福祉センター受付】

- 高橋 正通様 (城戸)
- よねや浅路店様

### 【雄物川福祉センター受付】

- 坪井 幸子様 (新丁)
- 扇好会様

- 梅若梅一座様
- 雄物川相撲葛句声友会様
- 雄川ハーモニカ同好会様
- ブルーサルビア様
- 萌芽笑天様
- 堀江 茂寿様 (横手)
- 雄物川中学校様
- 雄物川民生児童委員協議会様
- 五十嵐 敏紀様 (増田)

### 【十字字福祉センター受付】

- 老人クラブ西上友愛会様
- 民謡同好会民舞様

### 【増田福祉センター受付】

- 佐藤 勝美様 (吉野)
- 小玉 信正様 (関ノ口)
- 長岩 和男様 (本町)
- 増田中学校生徒会様
- 横手市シルバー人材センター増田支部女性部様

### 【山内福祉センター受付】

- 演歌クラブ様
- 山内中学校生徒様
- ダスキンヘルスレント横手ステーション様
- 大正琴アンサンブル様

### 【大雄福祉センター受付】

- 佐々木 耕一様 (八柏)
- 柴田 厚司様 (東桜森)
- 小松田 良様 (四津屋)

### 【平寿苑受付】

- 傾聴ボランティアささやき様
- CAPP秋田様
- 樽見内保育園様

### 【憩寿園受付】

- 傾聴ボランティアささやき様
- 十字字第二小学校6年生様
- こひつじ幼稚園児様
- 神原 實様 (八兵工丁)
- 十字字ミニデイサービス様
- 佐藤 純様 (増田)
- さらさ横手様
- 植田小学校児童会様
- 十字字第二小学校様
- 高橋 儀一郎様 (佐吉開)

### 【雄水苑受付】

- 傾聴ボランティア様
- 雄川ハーモニカ同好会様
- だべ〜る会様
- 雄物川地域婦人会様
- 午後のレモンティー様
- 玉川遼州流佐々木晋衣社中様
- 大森中学校吹奏楽部様
- イオンスーパーセンター横手南店様
- 佐藤 圭子様 (東里)
- 下村 威之助様 (沼館)
- 沼館婦人会様
- 小西 貞子様 (今宿)
- 佐藤 昭逸様 (東里)
- 鈴木 貞吉様 (西野)
- 佐藤 竹四様 (十字字)
- 四関 タマ子様 (常野)
- 雄物川北小学校5年生様



憩寿園に十字字第二小学校から二小米をいただきました



## 訂正

前号(10月15日発行)の2ページ「ボランティア&職業体験」の記事で、「山内中学校2年」の高橋海帆さんを誤って「山内中学校3年」と掲載してしまいました。高橋さんをはじめ、関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことに、心からお詫び申し上げます。



# ふくしな 人たぢ



藤田宏喜さん (横手)

## 『できることを見つけよう！続けよう！』

中学生の頃、友人からの誘いがきっかけで輪気愛相事業にボランティアとして参加し、それ以来ほとんど毎回参加している藤田さん。

言われた事をただするのではなく、相手の目線になって、自分自身でできる事を見つける事が、いつも新鮮な気持ちになるとの事。参加者と一緒に交流しながら、相手の表情やしぐさを常に見守っていくことが大切だと感じていました。

そんな藤田さんからのメッセージは、『きっかけや理由は何であれボランティア活動をしてみよう、そして続けていこう』続けていく事で、できる事や気づくことが増えていきコミュニケーションの輪が広がっていくので、また参加してみようと前向きな気持ちになります。

そしてボランティアという「普段の仕事や生活とは違う環境」に自分をおくことで自分を見つめ直し、気分的にリセットやリフレッシュすることができます。

藤田さんは現在、市内福祉施設に勤務。子供のころから関心のあった福祉の仕事やボランティア活動の日々です。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進めていく民間の団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388  
 横手福祉センター TEL.0182-33-8668 FAX.0182-33-8778  
 増田福祉センター TEL.0182-45-4848 FAX.0182-44-7867  
 平鹿福祉センター TEL.0182-24-3283 FAX.0182-24-3286  
 雄物川福祉センター TEL.0182-56-2072 FAX.0182-23-1817  
 大森福祉センター TEL.0182-26-3274 FAX.0182-26-4547

十文字福祉センター TEL.0182-42-5858 FAX.0182-42-4577  
 山内福祉センター TEL.0182-53-3009 FAX.0182-53-3024  
 大雄福祉センター TEL.0182-52-3311 FAX.0182-52-3444  
 特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.0182-38-7011 FAX.0182-38-7012  
 特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.0182-22-4561 FAX.0182-22-3607  
 特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.0182-42-2510 FAX.0182-42-2555

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号  
 TEL0182-36-5377 FAX0182-36-5388 E-mail syakyou5@agata.plala.or.jp  
 この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

あなたから 届ける「想い」 つながる「心」